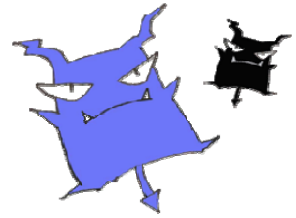


平成21年3月

京都市こどもの感染症



★☆☆ 去年の今ごろ、京都市で多かった感染症

順位	病気の名前	特徴、予防法など
1位	感染性胃腸炎	発熱、下痢、おう吐などが症状です。ノロウイルスが有名ですが、その他の色々なウイルスや細菌も原因となり、何回もかかってしまうことがあります。予防のため、手洗いや食品の十分な加熱などを心掛けましょう。
2位	インフルエンザ	インフルエンザウイルスが原因で、急な発熱（高熱）や筋肉痛、関節痛などの全身症状が強く出やすく、免疫力の弱い乳幼児では、吐き気やおう吐などの胃腸症状のほか、肺炎や気管支炎、中耳炎、脳炎などの合併症を起こすこともあります。予防策としては、インフルエンザのワクチン接種のほか、手洗い、うがい、マスクを着用し、部屋の湿度を適切に保つ、休養、栄養を摂るなどの日々の対策が大切です。
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	のどの痛みと発熱で始まり、赤い発しんが全身に広がります。3～4日すると、舌がいちごのように赤くなってぷつぷつになるいちご舌と呼ばれる症状が特徴で、4～5歳での感染が多くなっています。

**2～4期の麻しん・風しん(MR)ワクチンの予防接種は、お済みですか？
3月31日が無料で受けられる最終日です！**

この期間を過ぎると、医療機関によって異なりますが、約1万5千円の自己負担が必要となります！

＜予防接種法による定期接種＞

1期：1歳時

2期：小学校入学前年度の1年間（4/1～3/31）

3期：中学1年生年齢相当（平成21年3月31日までに13歳となる人）
（平成7年4月2日～平成8年4月1日生まれ）

4期：高校3年生年齢相当（平成21年3月31日までに18歳となる人）
（平成2年4月2日～平成3年4月1日生まれ）

のいずれかに該当する方は、無料でワクチンの接種が受けられます。
予防接種協力医療機関で受けてください。

※予防接種協力機関については、下記のホームページで御確認ください。

京都市が実施する定期の予防接種について

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000054743.html>

麻しん（はしか）は、ウイルスによって起こる感染症で、感染力が非常に強く、ワクチンでしか予防することができません。

予防接種を受けたことがない人はもちろん、1回受けたことがある人も2回目の予防接種を受けましょう。



◆◇ 気になる症状があるときは、かかりつけの医療機関に相談しましょう ◇◇

発行 ☆ 京都市保健福祉局 保健医療課 / 衛生公害研究所

（本号及びバックナンバーは、衛生公害研究所のホームページからも御覧になれます。）